

高等部 情報科 1 段階

単元名:「ロボットを動かしてみよう～挑戦 Scratch 操作！！～」

Fさんの本時の評価規準（情報科 1 段階）

- ② ロボットを目的地に移動させる活動を通して、目的を達成するために必要な動きを考え、プログラミングで表現している。
(思考・判断・表現)
- ③ それぞれが構築したプログラムや計測した時間などのデータを活用・比較して、自身のプログラムを評価したり、より良い形に改善したりしようとしている。
(主体的に取り組む態度)

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

教材

- ・動き 1 つにかかる時間や歩数などの一覧表を作成し、生徒が分かるようにする。
- ・ロボットの数を制限することで、話し合いを活発にする。

指導

- ・目標の重要度に沿って、ブロックの比較・時間の比較を逆にする。
- ・「どうしてA君は早かったのか？」きっかけづくりの言葉かけをする。

言葉

- ・グループ活動を充実させ、意見交換をすることで問題発見や課題解決への多面的な視点を養う。

単元構成

- ・一人一台のロボットを使う授業から、グループで意見を出し合う授業へ移行することで、機器操作の基本や試行錯誤から、問題発見・課題解決へつなげていく単元構想をする。

<単元研究会のあと…>

単元研究会の後は、グループ編成、ロボットの数を改善することで、多人数の意見が加わり、失敗を繰り返しながらも時間やブロックを短縮しようとする試行錯誤は増えていきました。情報科として、生徒が事象をどのように捉えているかを教師の発問から確認できるようにしていき、その上で、問題発見のための整理方法や課題解決に向けた学習を行っていきようにしたいと思います。

